

平成27年6月5日

嬉野市議会議長 田口 好秋 様

産業建設常任委員会  
委員長 辻 浩一

## 産業建設常任委員会報告書

平成27年3月議会において付託された下記事件の調査結果を、嬉野市議会会議規則107条の規定により報告する。

付託事件名 市内の水道施設について

### 「調査理由」

平成27年4月28日 嬉野市内水道施設の現況を把握するために視察を行なった。

調査箇所は次のとおり

丸尾平配水池・山口ポンプ場・赤仁田浄水場  
岩ノ下浄水場・不動山浄水場・清水浄水場

### 「現状」

現在嬉野市内において、水道事業は塩田地区が佐賀西部広域企業団から給水を受け丸尾平配水池を経由し各家庭に給水をおこなっている。また、嬉野地区は清水・不動山・木場赤仁田・春日・岩ノ下の各浄水場より水道水の供給をおこなっている。

嬉野市の計画給水人口は27,100人・現在給水人口26,864人・計画1日最大給水量10,072 $\text{m}^3$ ・給水区域81.95 $\text{km}^2$ となっており、吉田地区の赤仁田・広川原を除く区域に水道水を供給している。

また、平成20年度から23年度におこなった水道管統合整備事業により、両地区で緊急時水道水の融通が出来るようになっている。

- 丸尾平配水池は平成13年より塩田地区全域に給水が開始された。  
給水可能水量は4,483 m<sup>3</sup>/日であり、現在給水人口は10,790人、1日平均配水2,914 m<sup>3</sup>となっている。
- 山口ポンプ所は谷所高区ポンプ所と殿ノ木庭ポンプ所を經由し谷所配水池・殿ノ木庭高区配水池への給水
- 赤仁田浄水場は浄水能力300 m<sup>3</sup>/日で祇園配水池を経て各家庭への給水
- 岩ノ下浄水場は浄水能力1,370 m<sup>3</sup>/日で吉田配水池を経て各家庭への給水
- 不動山浄水場は浄水能力170 m<sup>3</sup>/日で不動山低区配水池他を経て各家庭への給水
- 清水浄水場は浄水能力7,250 m<sup>3</sup>/日で清水配水池を経て各家庭への給水

#### 「委員会の意見」

各水道施設とも適正な管理がなされており安心安全な水道水の供給がなされていた。

今後の課題としては、不動山簡易水道事業、木場地区専用水道が平成27年度から2か年で上水道区域に統合する計画であり、関係区域の皆様へ周知徹底を求める。

また、未普及地区の赤仁田地区についても平成27年度から2か年で上水道に編入される予定となっているが、地区の方にとっては長年の懸案であるので着実な進捗を望みたい。

現在、丸尾平配水池の有収率は85.02%・清水浄水場の有収率は77.69%となっており、ロスの原因は漏水であるとの分析である。有収率の向上に向けて計画的な老朽管の更新がおこなわれているが、嬉野地区においては住宅密集地を抱えており作業困難なことが予想される。

しかしながら、市民にとって重要なライフラインである水道水の事故防止・安心安全な水の供給のために更なる計画推進に期待する。

今後人口減少、施設の老朽化対策など水道事業にとって様々な課題が山積している事を踏まえ、今後の水道事業の在り方について包括的な議論が必要となってくると考える。